

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	高齢者とのふれあい活動	実施時期	1 1 月 1 日（水）
趣旨又は目的	高齢者の方々とのふれあい活動を通して、互いの交流を深めるとともに、昔の生活や経験を知ることができる。		
参加者	校区在住の高齢者及び児童の祖父母 1 1 名，児童 2 6 名，職員 1 0 名 計 3 7 名		
活動概要	1 開会式（校長先生のお話・高齢者紹介） 2 活動内容の説明 3 ふれあい活動（昔あそび） 4 閉会式（お礼のことば）		
活動写真	 けん玉遊び  こま回し  ケンケンパ  おはじき遊び		
[説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（西之表市）			
事業名	校区秋季慰霊祭奉納相撲大会	実施時期	11月3日（日）
趣旨又は目的	校区秋季慰霊祭の余興として、戦没者やご先祖様に、地域の子供たちの元気な姿を寛することを目的として奉納相撲を行った。		
参加者	国上校区民 国上小児童及び職員 国上小PTA会員		
活動概要	地域の戦没者やご先祖様の魂をなぐさめ、地域の子供たちの元気な姿を見ていただくことを目的として、校区秋季慰霊祭奉納相撲大会が行われた。本校児童12名が参加し、熱戦を繰り広げた。たくさんの地域の方々の声援を受け、相撲場は活気に溢れ大変盛り上がった。		
活動写真 [説明]	  男子も女子も手に汗握る熱戦が来る広げられ、観戦に来ていた地域の方々からの応援をいただいた。地域の方々に本校児童の元気な姿をみていただくことができた。		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）	
事業名	石碑祭り
実施時期	1 1 月 1 日
趣旨又は目的	郷土の歴史や文化への理解を深めさせるとともに、郷土を愛し、郷土の発展を願う心情を育てる。
参加者	安城小学校児童，保護者，教職員，安城校区民，校区役員
活動概要	明治 14 年，種子島沖で難破したアメリカ商船カシミア号の乗組員を手厚く介抱した安城の先人たちの遺徳を偲び，毎年 1 1 月 1 日に行っている学校行事である。保護者や校区民など多数の方々の参加もあり，安城校区全体で本地域の歴史や文化，伝統を学ぶ伝統行事となっている。 今年度も，西之表市企画課歴史文化活用係の荒河翼氏を講師にお招きし，安城の歴史や文化について詳しく御講話いただいた。特に「安城踊り」については，歌詞は，4、5 0 0 年前のものと考えられていることや，1 8 0 0 年頃には，殿様に披露していた記録があることなど，子供たちも大変興味深く話を聞いていた。また，安城に長くお住まいの方も初めて知る内容が多く，子供も大人も安城についてじっくりと学ぶよい機会となった。
活動写真 [説明]	 【先人の遺徳を偲び全員で黙祷】
	 【石碑に刻まれた文を朗読】
	 【荒河氏による講話】
	 【多くの参加者が真剣に話を聞く様子】

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（西之表市）

事業名	学習発表会	実施時期	11月1日
趣旨又は目的	○ 総合的な学習の時間を通して、自分たちが暮らす郷土「種子島」の今昔について調べ、知識や理解を深め、未来について自分たちができることを検証する。		
参加者	○ 種子島中学校全校生徒、職員、保護者、その他		
活動概要	総合的な学習の発表及び展示発表 1年生：「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任 つかう責任（SDGsについて考える）」 2年生：「平和への思い ～種子島から世界へ～」 3年生：「2030年の種子島に向けて私たちができること」		
活動写真	1年生：市の施設（市役所や消防署）及び文化財施設（鉄砲館や月窓亭）の担当者にインタビューしたり調べたりしたことや、現在の生活におけるSDGsについて調べたり考えたりしたことを発表した。 2年生：修学旅行を通して学習した「平和」についてまとめ、私たちが暮らす種子島についても調べた。 3年生：校外学習で行ったビーチクリーン作業を通して、種子島の環境問題について考えたことを発表した。シーグラスを使ったアート作品を製作した。		
[説明]	 		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 西之表市 ）

事業名	チェンジアップ榕城	実施時期	10 / 28 ~ 11 / 22
趣旨又は目的	児童の学びの意欲を向上させ、基礎・基本の定着を図るために、学校(教師・児童)・家庭・地域みんなが意識して取り組む。		
参加者	児童 職員 保護者		
活動概要	11月を「学力向上推進月間」とし、学力向上のための取組を学校全体で行った。それとともに、家庭へ生活習慣の見直しをお願いした。期間の終わりにアンケート(朝ご飯を食べさせているか、家庭での学習環境が整っているかなど)を実施し、集計し、結果の周知を図り、今後の指導に生かすようにしている。		
活動写真 [説明]	 ※ 11月の学力向上推進月間の取組へのご協力ありがとうございました。下記QRコードを読み取りアンケートに答えてください。11月27日(水)までに回答をお願いします。(それぞれのお子様で回答して下さい。)よろしくお願いします。 こちらの質問に答えてから提出をお願いします。 ご協力ありがとうございました。このカードも11月27日(水)までに各担任へご提出ください。		
	・保護者に内容や方法を周知し、協力をお願いをしている。 ・児童は、日々取り組んだ問題の得点をカードに記入する。 ・1週間ごとに持ち帰らせ、児童の学習理解度を学校と家庭が共に把握できるようにする。 ・最終日にアンケートを行い、今後の指導に生かすようにしている。		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（西之表市）			
事業名	食育支援事業	実施時期	西之表市
趣旨又は目的	種子島のさとうきびを通して本県の農産物への関心を高めるとともに、農業研究に関する正しい知識と理解を深めさせる。		
参加者	伊関小学校児童（3～6年生 16名） 教職員（3名） 九州沖縄農業研究センター 研究員（1名）		
活動概要	○ さとうきびについての説明 ○ 農業研究についての説明		
活動写真 [説明]	○ さとうきびについての説明  「さとうきび」の植物としての特徴について説明を聞いた。 育ち方や増え方、品種による違いなどを学習することができた。 すすきと見分けることが難しい品種もあることを知った。 ○ 農業研究についての説明  よりよい品種を作るため、研究するための工夫について学習した。 説明の途中でクイズを交えながら、わかりやすく説明していただいた。 身近にある研究施設の役割を知り、より身近に感じたようだった。		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（西之表市）			
事業名	たんぽぽの会「読み聞かせ」	実施時期	11月1日～11月7日
趣旨又は目的	保護者や地域の方々と構成する読み聞かせグループ「たんぽぽ」による、読み聞かせ等を通して、学校の読書月間を活用した読書への意欲付けを図るようにする。 また、地域に伝わる昔話を題材にしたオリジナルの紙芝居等を通して、地域への誇りと愛着をもてるようにする。		
参加者	読み聞かせグループ 10名 教職員 3名 児童 33名		
活動概要	種子島に伝わるお話「へびの四郎丸」という紙芝居を読み聞かせした。生き物を大切にすることは、子供たちの情操教育に貢献した。 種子島弁を交えた「さるかに合戦」では、ユーモアたっぷりの演技にすべての児童が物語の世界観を十分に楽しむことができた。 また、年間を通して、週に数回、朝の活動の時間に、「たんぽぽ」の方による読み聞かせが計画されている。子供たちの豊かな感性を育むことはもちろんのこと、朝から落ち着いた雰囲気の中で学ぶ環境づくりにもつながっている。		
活動写真 [説明]			
	読み聞かせを楽しむ子供たちの様子。笑顔の中にも真剣に身を乗り出しながら、話の世界観に引き込まれる様子が見えた。 地域の人による読み聞かせや寸劇は、子供たちにとって、読書を身近に感じられ、良い経験につながった。   職員や地域の方による「さるかに合戦」の寸劇の様子。		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(西之表市)

事業名	かがやき発表会 (地域が育む「かごしまの教育」県民週間)	実施時期	令和6年 11月9日 (令和6年11月1日～11月30日)
趣旨又は目的	県民週間や学習発表会(かがやき発表会)をととして、児童の学習への関心や意識を高揚させ、表現することや鑑賞することの喜びを味わわせる。 学校・家庭・地域社会のより一層の連携や協力のもと、地域の人々との交流を深める。		
参加者	古田小学校 児童20名、保護者・教職員30名、幼児5名、地域内外から15名		
活動概要	- 生活科や総合的な学習の時間を中心に、学習したことを発表した。 - 授業参観や交流会を実施した。 - 保護者や地域内外の方の参加が多くあった。		
活動写真 [説明]	【 県 民 週 間 】    長生会との交流会 地域内外からの授業参観 お家の人の読み聞かせ 【 か が や き 発 表 会 】    生活科の発表 総合的な学習の発表 全体合奏		

令和 6 年度「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

事業名	高齢者とのふれあい活動(納官小学校)	実施時期	市町村名 (中種子町) 1 1 月 1 日 (金)
趣旨又は目的	子どもたちと一緒に昔遊びやゲームしていただいたり、給食と一緒に食べていただいたりしながら、子どもたちが「自分が生まれ育った地域を大切にする心」や「食文化やいのちの大切さ」について学習する機会をつくる。		
参加者	児童17名 教職員12名 校区の方々11名		
活動概要	○ 3校時：高齢者との触れあい活動（体育館）全校児童 (1) はじめのあいさつ（5・6年） → 3・4年生が計画した猛獣狩り・輪投げ・花いちもんめを実施。 (2) レクリエーション ① 猛獣狩り（10分）→全員で ② 子どもは花いちもんめ（9人）・輪投げ（9人）に分かれて活動する。 (3) 終わりのあいさつ（5・6年） ○ 4校時：1・2年生 生活科 → 「ちいきのかたと触れ合おう」（高齢者の方と昔の遊びをしたり、子供たちが準備したもので遊んだりする。） ※ その間に、体育館で一緒に給食を食べるための準備を行う。 ○ 給食時間：子供たちと一緒に給食を食べる。		
活動写真 [説明]	 レクリエーション 猛獣狩り  花いちもんめ  子供たちが作ったおもちゃで遊ぶ  6つのグループに分かれて給食		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 屋久島町 ）

事業名	子ども会合同レクリエーション	実施時期	11月16日（土）
趣旨又は目的	異年齢交流を目的とし、他地区子ども会との親睦を深めるとともに、中学生にはリーダーシップを発揮することができる成長の機会となるよう努める。		
参加者	松峯子ども会・春田子ども会・安房如竹子ども会の子ども会員と育成者 (100名以上)		
活動概要	1 はじめのあいさつ 2 ドッジボール（中学生・高学年）、ドッチビー（低学年） 3 玉入れ 4 だるまさんがころんだ 5 おわりのあいさつ 同じ校区内の3単位子ども会が集まり、合同でレクリエーションを実施した。100名以上の参加となり規模が大きかったため、初めは育成者が進行をしたが、途中からは中学生が中心となって司会進行やルール説明等を行った。休憩時間には小中学生で楽しく交流する場面も見られ、充実した時間となった。		
活動写真	 ← バランスボールなどのいろいろなボールを使ったドッジボール  ↑ 玉入れのかご役は中学生  ← 低学年にもわかるように工夫しながらのルール説明		